

## この街で、働く人たち



写真 = 間部百合 イラストレーション = 川上貴士 文 = 孫 奈美

**Job:** 東急スポーツシステム株式会社  
東急スイミングスクールあざみ野 ×  
TSS キッズアカデミーあざみ野 コーチ

**Name:** 遠藤 祐樹

今年4月、「東急スイミングスクールあざみ野」は「東急スイミングスクールあざみ野 × TSSキッズアカデミーあざみ野」としてグランドオープン。最新の小学校学習指導要領に応じた音楽やダンス、プログラミングなどのキッズプログラムを提供開始。共働き世帯のニーズに応え、習い事送迎に特化したMaaS「子ども専用送迎チャトルhab」を導入。スイミングスクールは幼児から成人までクラスを設けている。www.tokyu-sports.com/swimming/azamino

もともと子どもとかかわることが好きで、小学校の教員になりたいと思っていました。水泳は幼少期から続けており、高校卒業後はここでアルバイトをしながら、目標に向かって勉強に励んでいたのですが、さまざまな事情で教員の道は断念することになりました。

入社して20年、長いお子さまですと、幼児クラスから始まり小学生クラス、選手育成コース（中学生）まで指導しています。教え子たちのなかには、コーチとしてここに戻ってきて、一緒に働いているメンバーも。あの小さかった教え子が、今度は教える立場になり、泣いている子がいればそっと寄り添うなど、立派に成長した姿を見ると感慨深いですね。もちろん教員も魅力ある仕事ですが、こうして切れ目なく子どもの成長を見届けられる仕事に出合えて本当によかったなと。スイミングコーチ冥利に尽きます。

ただ、親御さんが子育てに悩むように、私も思春期の中学生の指導に悩み、正直心が折れそうになったことも。そういうときは、子育て経験が豊富な主婦スタッフ、同僚や、中学生と年齢が近い大学生スタッフなど、周囲にたくさんのアドバイスを求め、多角的な視点で指導をするようにしています。一時はコミュニケーショ

ンがなかなか難しかったお子さまが、ここを卒業するときに感謝の気持ちをつづった手紙をくれたり、大学生になってスタッフとして戻ってきてくれたり……そういうときは、仕事の枠を超え、人生のご褒美をもらったような気持ちになります。コーチを始めたときは、こんな幸せな未来が待っているとは思いませんでした。

日々の指導では、子どもたちの好奇心を引き出す言葉をかけたり、泳ぐことを嫌がる時は何に引っかかりがあるのか丁寧にひもといたり、さまざまな工夫をしています。また、級が上がること以上に、きれいに泳げるようになることを大切にしています。水泳は楽しいプログラムですが、ほんの数秒の空白が命取りになる危険性もあります。それを深く意識し、レッスン中も数分おきに安全点検をしています。ここ数年は、年齢にかかわらず対会員さまやスタッフ同士においても、パワーハラスメント、セクシャルハラスメントが起きないよう、社内研修を徹底しています。

日頃どれだけ熱心に指導をしても、事件・事故が起きたら一瞬で信用が失われます。これからも安心・安全を軸に、お子さまの気持ちや成長に寄り添う丁寧な指導を続けていきたいです。